

令和3年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第二中学校第2学年

	授業における課題や学力調査資料から見た課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 古文の暗唱には意欲的に取り組み、成果を上げた。 自分の考えを言葉にすることはできるが、論理的な文章や発言をする力に乏しい。 記述式の問題で話し言葉を使う等、言葉の使い方が誤っている生徒が多い。 言葉の表面的な意味は理解するが、文章の中での使い方やニュアンスを感じ取る力が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明的文章の学習を通して、説得力のある論理展開の方法を学習する。 各単元で、自分の考えを文章化し、交流する活動を取り入れる。 語句調べや短文作り等、言葉を身につけ活用する力を養う。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な計算による形式的な処理能力は身につけているが、方程式とその解の意味、関数とその意味など、何を何のために求めているのかを理解する力が乏しい。 学習してから時間の経ってしまった内容について、振り返ったときに解決できない生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の際に、判断の根拠や求め方の過程を自分の言葉で説明する活動を取り入れる。 新しい学習内容を学ぶ際の導入や授業はじめの計算プリントを用いて、既習事項の振り返りを粘り強く行って。また、定期考査の度に行う解き直し・振り返りレポートを通して、学習内容を振り返る習慣の定着を図る。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ①与えられた課題に対してほぼすべての生徒が取り組む姿勢が見られ、教科書の記述から調べたり、簡単なグラフなどの資料の読み取りはできているが、1つに複数の読み取りが必要な資料や複数の資料を関連させて読み取ることにはあまり取り組むことができなかった。 ②時事問題に関する関心が低く、ニュースなどを見る機会が家庭で全くない生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ①資料の読み取りの仕方を授業時に多く取り上げる際に、コピーや画像を使い読み取り方を丁寧に説明していく。また、地理的分野だけでなく、歴史的分野でも地図やグラフなどの複数資料の読み取りの課題を提示する。 ②引き続き廊下にニュースを掲示していき、授業時にも授業内容とは別にニュースに触れる時間を作れるようにしていく。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎的な読解力に乏しく、実験結果をわかりやすくまとめることや考察ができない生徒が多数いる。 ②学んだことを発表してプレゼンする力やコラボレーション力に非常に乏しい生徒が多数見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①実験後の考察する「◯◯は△△である。」というように、主語を必ず書くひな型を提示したり、「××の結果と□□の結果を比べて考察しよう」と具体的に考察させる際の見方を提示していきたい。 ②モデルなどを班員で協働して発表する機会を増やして、表現する力(プレゼン力)をつけさせていきたい。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 旋律の形式と強弱の関連を理解して表現しようとする姿勢が見えてきた。一方で器楽(リコーダー)では演奏できる生徒とそうでない生徒の差が出始めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱活動や器楽活動の面で、その都度、音楽の要素や旋律の形式を確認しより、理解を深められるように指導する。器楽活動では基礎的な奏法の活動を継続させ、ペア学習や座席の配置などを工夫し、活動に参加させる。 	
美術	<ul style="list-style-type: none"> デザインの基礎的な課題「レタリング」では、見本があり短期なのでスムーズに制作できた生徒が多かった。一方、応用的な課題「絵文字」では、発想力の個人差が大きく、進度も差が出てしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> 美術室の視覚的資料を充実させる。 つまづきのある生徒を中心に机間指導できるように授業デザインをする。 	
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ①授業規律の定着 授業のきまりや集団行動の意義を理解し、きちんと身につけさせる。 ②応用力をつける 自己の体力を分析し、課題を設定して進んで取り組むようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> リーダーとしての体育係の指示でしっかり活動し、協調してお互いに高め合えるようにする。 運動量を確保するためにも、また生徒主体の活動を確保するためにも、マネジメント(準備・移動・待機)の時間が少ない行動をし授業を行っていく。 各種目の特性やポイント等の知識・理解を深め、個々の技能や体力に応じた適切な助言や声 	
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> 食への関心はあるが、栄養素の種類やはたらきなど学習した内容を普段の食生活に活かすことがへの定着が低い。 工具を利用する際に、日常的にモノづくりの経験が少なく、取扱いに不安を感じる生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 食生活の学習内容を日常生活と関連づけて指導する。・視覚教材を活用し、知識の定着を図る。 学習した内容を家庭生活で実践できるよう長期休業を利用して課題を出す。 基本的知識と技術の習得のため、実践的・体験的な学習活動を取り入れる。 自他の安全に留意して学習に取り組ませる。 	
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> ①授業での取り組みは概ね良好ではあるが、意欲に個人差があり家庭学習と宿題の取り組み方も個人差が大きいため、特に「書くこと」「読むこと」が困難な生徒もいて、個別の支援が必要である。 ②「聞くこと」「話すこと(やりとり)」についても日ごろのコミュニケーション活動が活かされない生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①昼休み・放課後等の時間を活用し個別指導をくり返し、学習の習慣化を図る取り組みを継続していく。 ②これまで以上に帯活動でのQ&Aの取り組みを徹底し、単元ごとのALTとのスピーキングテストのふり返りを強化し定着をはかる。 	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ①自分から意見や考えを発言する生徒に限られてしまった。 ②グループでの話し合い等で他者の意見を聞く場面がある時に、他者の意見を聞いて十分に共有できない時もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ①日頃の学級運営等で自由に意見を言い合える雰囲気づくりに一層努める。 ②グループでの話し合い活動や全体共有する場面、他者の意見を踏まえて考えさせるように教師の問いの設定や補助発問を意識する。 	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ①キャリア教育に関して、新型コロナウイルス感染症の拡大懸念により、外部へ出ることができなかった。 ②身近な地域の学習(東京の学習)についても、実施の可否がわからず取組開始を遅らせたことで、事前学習が十分に確保できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自らの適性を知る学習や職業調べ、保護者や地域人材を招いて教室単位で職業講演を実施するなどして、キャリア教育を行っていく。 ②実行委員会を活用する場面と全員の生徒が取り組む場面を精選する。 	